

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	34-2																															
PDCA	主要事業名	旧中荃家住宅保存管理事業	部課名	教育部博物館	担当	榑原																															
					内線	23-7173																															
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 2 単位施策： 文化の振興と継承																																				
	全体事業期間： 令和 3年度 ~ 3年度 全体事業費等： 6,880 千円																																				
	会計 一般会計 歳出科目 09.05.01.04.03																																				
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： ー 千円																																				
	事業概要等	<p>事業概要： 国の重要文化財「旧中荃家住宅」を後世へ継承するため、文化財としての価値を後世に向けて維持するための「保存管理」と、文化財保護の大切さを人々に伝える「活用」を行います。</p> <p>事業目的： 旧中荃家住宅を重要文化財として後世へ保存継承するとともに、郷土の文化財に対する理解や親しみを深めます。</p> <p>事業内容： 旧中荃家住宅の保存管理（各種点検、清掃、外庭等維持管理、修繕等）、公開等活用を行います。</p> <p>問題点・課題等： 後世への継承には、適切な保存修理、維持管理、災害等への備えが必要となります。活用は、建物の保存に配慮しつつ、効果的且つ継続的に行う必要があります。</p>																																			
	予算額	主要事業とする理由																																			
	6,880 千円	国の重要文化財である旧中荃家住宅は、市はもとより国にとって重要な財産であり、半田の文化財を象徴する建物です。この建物の保存活用を図る本事業は、市民の文化財保護意識を育むために必要な主要事業であるためです。																																			
	財源内訳	得られる成果																																			
	市費	重要文化財である旧中荃家住宅の後世への保存継承が図られるとともに、郷土の文化財に対する意識向上及び地域文化の振興に寄与します。																																			
	6,880 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">重文として適切な保存活用がなされている</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	重文として適切な保存活用がなされている	実績値	—	—	—	目標値	—	—	—		実績値				目標値				その他	実績値				目標値		
目標値や目指すべき状態	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																	
重文として適切な保存活用がなされている	実績値	—	—	—																																	
	目標値	—	—	—																																	
	実績値																																				
	目標値																																				
その他	実績値																																				
	目標値																																				

目標項目（予算計上時に作成）
予算見積書で活用

D 値 得 ら れ た 成 果 と 実 績	決算額	得られた成果				
	6,656 千円	<p>国の重要文化財である旧中荃家住宅の保存継承が図られました。また、特別公開を始めとした公開等活用により、文化財保護意識の向上及び地域文化の振興に寄与することができました。</p>				
		成果指標			令和3年度	単位
		重文として適切な保存活用がなされている	実績値	—	—	—
C 課 題 の 整 理	事業の評価・課題	A				
		令和3年度は、大正時代をテーマにした第5回特別公開を始め、演奏会付きの一般公開、市内家政専門学校と協働した刺し子講座、外観を活かした活用等を行いました。公開等活用では、ウィズコロナを意識しながら、内容の拡充を図ることができました。また、感染予防期間中においてもホームページでの情報発信や参加型の外観活用を行い、年度を通じて当住宅の認知度や保護意識の向上を図ることができました。				
		本事業の課題として、当住宅を後世へ継承するためには、今後も適切な保存修理等と建物の保存に配慮した活用を効果的且つ継続的に行う必要があります。				
A 今 後 の 課 題 の 解 決 方 向 性 向 け た	今後の事業の方向性	改善推進				
		今後も重要文化財としての価値を後世に向けて維持するため、建物の保存管理を行っていきます。あわせて、文化財保護の大切さを人々に伝えるため、特別公開を始めとした公開等活用を行い、「重要文化財旧中荃家住宅における保存活用の基本方針（令和2年3月策定）」をもとに、保存活用の充実を図っていきます。				
	観点別評価	必要性	有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト 削減余地 ない		
②市民ニーズ 高い		⑤成果向上の余地 ない	⑧受益者負担適正化余地 ー			
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない				

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用